

## 声と心を相手に届ける 第3回「読みあい」講演会

### SCENE 1



**出** 合公民館で6月14日、児童文学作家村中李衣さんを講師に迎え、第3回「読みあい」講演会が開催されました。講演会では、「あなたにとっていい日とはどんな日？」「ありがとうを最後に言ったのはいつ？」など一見、本を読むこととは無関係に思われる質問に、参加者は意見を交わしました。実はこのやりとりこそが相手の心を探り、その人がどんな人物なのか、自分がどんな人物なのかを知るために重要なことだったのです。最後にペアを組んだ相手の言葉や雰囲気から選んだ絵本を、自分の声に思いを込めて、相手の心に届くように読みました。最近誰かに声を届けましたか。誰かの声を受け取りましたか。心と心が通い合う、そんな時間を過ごしてみませんか。

### SCENE 2

## 土と水に苦戦！ 須恵小学校田植え体験

**6** 月11日、須恵小学校の5年生80人が、地元の農家の人たちの指導のもと、学校裏の田んぼで田植えを体験。最初はぬかるむ土に足をとられ、声をあげるなど苦戦する児童も、次第に慣れてくると、楽しみながら手際よく苗を植えていました。秋の収穫が楽しみです。



### SCENE 3

## 大切に育ててね！ カブトムシの贈呈

**障** がい者支援施設「みつば園」では、カブトムシの飼育を通して利用者の生きがいや使命感を見だし、地域との交流を図ることを目的に、園内で飼育したカブトムシを市内の幼稚園、保育園などに配布しています。6月20日には、厚陽保育園の園児にカブトムシを手渡しました。大切に育ててね！